

製品名: PIG3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16131**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	36kDa

抗原情報

遺伝子名	TP53I3
別名	TP53I3; PIG3; Quinone oxidoreductase PIG3; Tumor protein p53-inducible protein 3; p53-induced gene 3 protein
遺伝子 ID	9540.0
SwissProt ID	Q53FA7
免疫原	抗血清はヒト QORX 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 241-290

背景

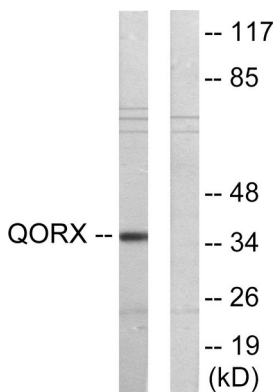
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、酸化ストレスや放射線に対する細胞応答に関与する酵素である酸化還元酵素に類似

しています。この遺伝子は腫瘍抑制因子 p53 によって誘導され、p53 を介した細胞死に関与していると考えられています。プロモーター領域には p53 コンセンサス結合部位があり、下流にはペンタヌクレオチドマイクロサテライト配列があります。p53 は、下流のペンタヌクレオチドマイクロサテライト配列と相互作用することで、この遺伝子を転写活性化することが示されています。マイクロサテライトは多型性を有し、ペンタヌクレオチド反復配列の数が p53 による転写活性化の程度と直接関連しています。マイクロサテライト多型は、がんに対する感受性の差異と関連している可能性が示唆されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっています。代替産物：紫外線はアイソフォーム 2 の生成を促進します。機能：活性酸素種 (ROS) の生成に関与している可能性があります。誘導：アイソフォーム 1 と 2 は、TP53/p53、ドキソルビシン、エトポシド、および電離放射線によって活性化されます。アイソフォーム 2 は紫外線によって著しく活性化されます。類似性：亜鉛含有アルコール脱水素酵素ファミリーに属します。キノン酸化還元酵素サブファミリーに属します。

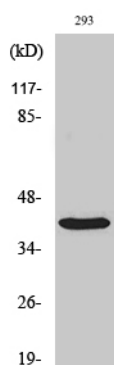
研究分野

p53;

画像データ



QORX 抗体を用いた 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



PIG3 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析